

(地Ⅲ34F)

平成21年5月9日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
飯沼 雅朗

アメリカからの帰国便における新型インフルエンザ患者の発生について

今般、5月8日16時38分成田着(アメリカデトロイト発)のノースウエスト航空25便に搭乗していた日本人3名が、国立感染症研究所での検査結果により、新型インフルエンザ(インフルエンザウイルスA/H1N1)患者であることが確定いたしました。

これに伴い、本日厚生労働省より別添のとおり報道関係者にプレスリリースがあり、本会にも連絡がありましたのでとり急ぎご連絡申し上げます。



Press Release

報道関係者 各位

平成21年5月9日
 新型インフルエンザ対策推進本部
 照会先: メディア班
 (電 話) 03(3595)3040
 内線(8778、8779、8780)

【第四報】

アメリカからの帰国便における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1) が疑われる患者の発生について

5月8日(金)16時38分成田着の、NW(ノースウエスト航空)25 便(CO6348、DL4351 共同運行便)(米国デトロイト→成田)に搭乗していた新型インフルエンザ(新型インフルエンザウイルス、A/H1N1)が疑われる患者3名の検査結果について、国立感染症研究所より検査結果の連絡がございましたので、お知らせいたします。

○ 検査結果 (国立感染症研究所)

A型	(+)
H1H1	(+)
H1H3	(-)
新型H1	(+)

このことから、当該疑われる患者3名は、新型インフルエンザの患者であることが確定しました。

患者に関する情報、一時的に待機をお願いしている方の情報、今後の対応は、以下のとおりです。

1. 患者に関する情報

(1) 概要

患者A: 患者は大阪府在住の40代の日本人男性。4月24日(金)から5月7日(木)までカナダのオークビルに滞在。6日(水)夜から、発熱(37℃)。風邪薬を服用。5月7日(木)に、カナダのオークビルから米国のデトロイトに移動し、デトロイトを出発。5月8日(金)に成田国際空港に帰国。簡易検査でインフルエンザAが陽性であった。新型インフルエンザの疑い患者の発生として、成田空港検疫所から新型インフルエンザ対策推進本部に連絡あり。

患者B: 患者は大阪府在住の10代の日本人男性。5日(火)夜から、発熱(38℃)。風邪薬を服用。その他については患者Aに同じ。

患者C: 患者は大阪府在住の10代の日本人男性。6日(水)から、咳症状。その他については患者A、Bに同じ。

※ これら3名については、同一の学校行事に参加した者であり、学校名等については報道に際して配慮してほしいとのお願いがあります。

(2) 疑い患者が搭乗していた飛行機の便名

5月8日 NW(ノースウエスト航空)25便(CO6348、DL4351 共同運行便)

(3) 患者の状況

患者A: 5月8日の検疫時点において、咳、咽頭痛、筋肉痛、関節痛の症状がある。
体温は、38.6℃。

患者B: 5月8日の検疫時点において、鼻汁、咳の症状がある。
体温は、36.6℃。

患者C: 5月8日の検疫時点において、鼻汁、咳の症状がある。
体温は、37.1℃。

2. 一時的に待機をお願いしている方の情報

- 宿泊施設に一時的に待機をお願いしている方は、以下のとおりです。

合計	49名
乗員	2名
乗客	47名
うち、学校関係者	33名(うち教師5名、生徒28名)
その他	14名

3. 今後の対応

- 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の患者については、検疫法に基づき、千葉県成田市内の感染症指定医療機関の感染症病床に隔離いたしました。今後、適切な入院医療を提供いたします。
- 宿泊施設に一時的に待機をお願いしている方については、検疫法に基づき、別の宿泊施設に移っていただき、新型インフルエンザに感染していないか確認するため、一定期間(到着時から10日間)停留していただきます。定期的に、医師が健康状況を確認し、発症する方がいた場合、適切に対応いたします。
- 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の患者と同じ航空便に搭乗していた方で、停留の対象とならない方については、健康状態質問票に基づき連絡をとり、積極的な健康監視を、直ちに実施することとしております。